

©創通エージェンシー・サンライズ

**MG**  
MASTER GRADE

創通エージェンシー  
サンライズ  
0129454

**BANDAI**



GUNDAM-W  
*Endless Waltz*

MOBILE SUIT  
XXXG-00W0

# WING GUNDAM ZERO

MOBILE SUIT  
XXXG-00W0



BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

XXXG-00W0  
「ウイングガンダム ゼロ  
(エンドレスワルツ版)」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

Scanned by Dalong.net

0129454





## WING GUNDAM ZERO

A.C.(アフターコロニー期)におけるMSは、もともとコロニー建設に際して開発された作業用動力付き宇宙服の名称だった。作業用の腕を持つ有人式の作業用機器全般が、MOBILE Suit([Manipulatable Order Build and Industrial LaboreExtended Suit=可動肢付き建設及び工業労働用益充型(宇宙)服])と呼ばれていた。MSが現在のように巨大な“人型兵器”としての姿を手に入れたのは、ロームフェラ財団がMS開発に本格的に乗り出しが後、OZの設立以降のことであった。巨大な“人型機動機器”は、以前から度々提案されており、コロニー建設用MSの開発を通じ、技術的にはすでに実現可能なものだったが、“それ”を必要とする紛争などの政治状況、要するに“市場”が存在していなかったのである。しかし、ロームフェラ財団が“市場開拓”に乗り出したことにより状況は一変する。

いくつかの試作を経て、全てのMSの始祖とも言える“トールギス”が開発された。しかし、各種機能を限界まで追及したトールギスは、兵器としては駄目していた。その機動性と運動性は、人間の身体機能の限界を超えていたからである。

トールギスの開発は、数機分のパーツと一体の試作機の完成をもって終了したが、それに付随して開発された各種の新技術はスピンオフされ、トールギスのデチューン機とも言える“リーオー”を始めとするOZのMS体系を成立させることとなる。しかし、すでにその段階で、トールギスを開発していた主要スタッフは、OZの下を出奔していた。彼らは連合や財団の方針に従って兵器としてのMSを開発したわけではなく、自らの理想とするMSを生み出すことが目的だったからである。

OZを出奔した技術者たちは、トールギスを超える機体を開発すべく、トールギスの機能や構造をさらに検討し、理想のMSの基本構造とする研究を進めた。兵器としてのMSには様々な機能が附帯されるが、彼らはMSの最もソリッドな状態を作り出そうと考えたのである。そして、それ自体がトールギスに匹敵する機能をもつ機体として設計されたのが“ゼロフレーム”である。

ゼロフレームは、武装と耐候装甲、プロペラント以外の諸機能を全て完備しており、短時間であればこの状態での稼働も可能である。同時に、装甲などの外装にも依存していたMSの構造応力をフレームそのものだけでまかなうことにも成功した。これは、装甲と内部構造の完璧な分離に成功したことでもある。つまり、既存のOZ製のMSのように、外装の損壊によって稼働不能に陥ることがなく、全装甲の90%を喪失しても戦闘を継続できると言われている。ゼロフレームは、この一点において、すでにトールギスを凌駕していたと言うことも可能だろう。しかも、そのスペックはさらにトールギス1機分(以上)の武装や外装、装甲などの装備を前提としたものであった。

この段階で、ゼロフレームの軽体のスペックとボテンシャルはトールギスを上回り、新素材ガンダニウムの採用によって強度的にも実戦に耐え得るものとなつた。ただし、トールギスのウイークポイントであった「人が制御できない機動兵器」という傾向はさらに助長されていた。それゆえ技術者たちは、この機体を封印する。だがそれは、制御系全体を含むマンマシンインターフェイスの問題であり、実際には、そのためのシステムの原型も設計されていたのである。ただし、それはあくまで、後の技術発展を見越したものであり、その時点で完成させることは不可能であった。無論、彼らがこの機体の威力そのものに脅威を感じたことも要因のひとつであったとされている。しかし、後に5人の科学者はそれぞれ独自に“ガンドム”を完成させる。

“ドクターJ”“プロフェッサーG”“老師O”“教授”“ドクトルS”それぞれのコンセプトの違いは、彼らがそれぞれゼロに託したものでもあった。5機のガンダムの完成そのものが、本質的には“ゼロ”的完成の予兆でもあった。最大の誤算であったパイロットとのインターフェイス“ゼロシステム”も、この動乱の時代を見据えていたかのように実現可能となっていたのである。かくして、20年の時を経て、ゼロの弱さは復活の剣を避ける。



# WING-OOWO WING GUNDAM ZERO

Parts Name

Parts List

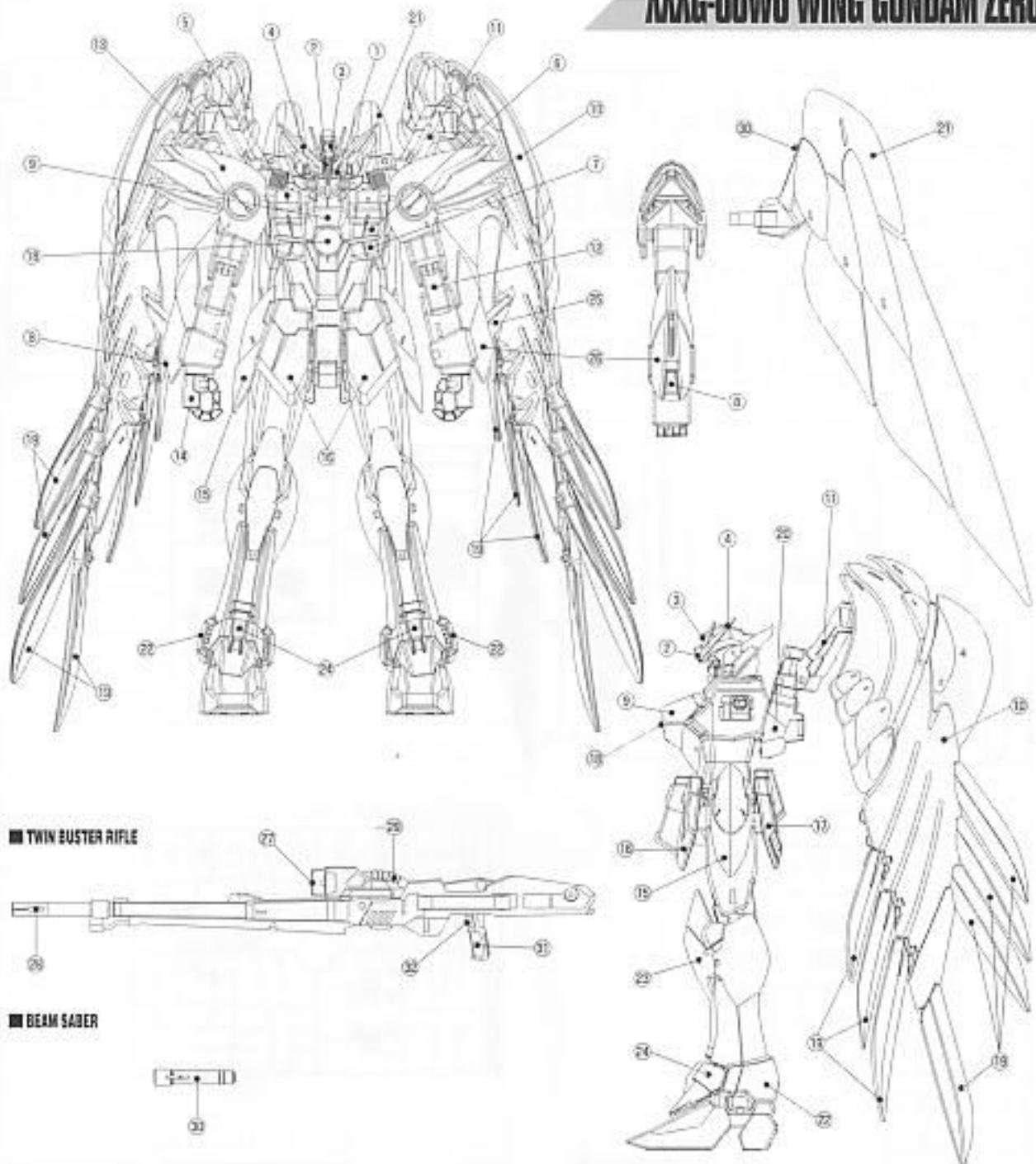
Head & Unit

Arm & Leg Unit

Wing Unit

Weapons

Final Assembly



① デュアルセンサー

② プロウズセンサー

③ フォアヘッドセンサー

④ ブレードアンテナ

⑤ マシンキャノン

⑥ アッパーインテーク

⑦ ボトムインテーク

⑧ サブセンサー

⑨ コクピットハッチ

⑩ メインウイング

⑪ フレキシブルウイングステー

⑫ エルボージョイント

⑬ ショルダーアーマー

⑭ マニピュレーター

⑮ サイドアーマー

⑯ フロントアーマー

⑰ リアアーマー

⑱ ゼロシステムインジケーター

⑲ フレキシブルカナードウイング

⑳ バックパック

㉑ サブウイング

㉒ アンクルサポートユニット

㉓ ニージョイントアーマー

㉔ アンクルアーマー

㉕ カナード

㉖ センサーリレイ

㉗ サイトスコープ

㉘ マズル

㉙ パワーサプライケーブル

㉚ ビームサーベル

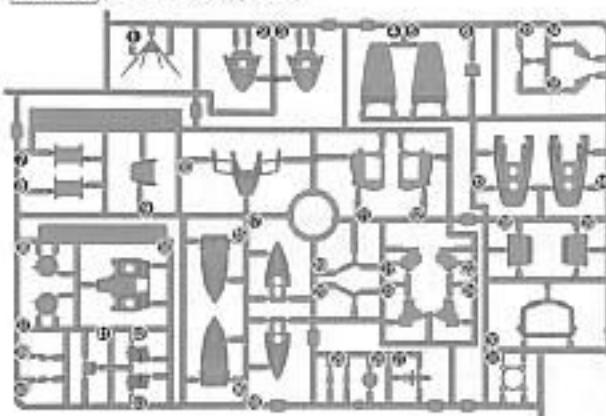
㉛ フォールディンググリップ

㉜ トリガー

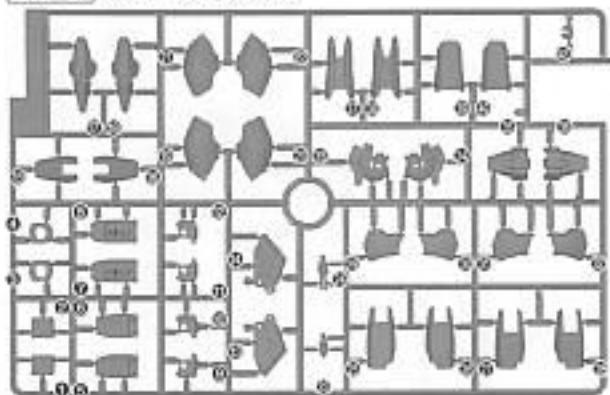
注) "ウイングガンダムゼロ"は、トールギスと5機のガンダム、すなわちウイングガンダム・ガンダムデスサイズ・ガンダムヘビーアームズ・ガンダムサンドロック・シェンロンガンダムの間に位置する種体であり、5機のガンダムは、完成することなく封印された"ゼロ"の形見分けによって生まれたとも言える。逆に、5機のガンダムの完成によって、ゼロの建造も可能となつたのである。

## パーツリスト

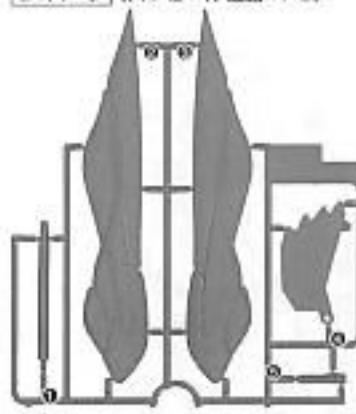
A/パーツ (スチロール樹脂: PS)



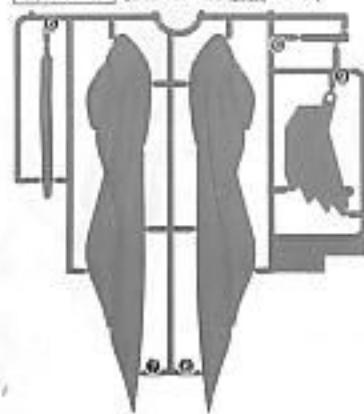
B/パーツ (スチロール樹脂: PS)



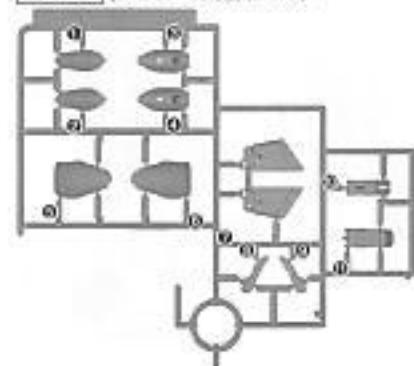
C1/パーツ (スチロール樹脂: PS)



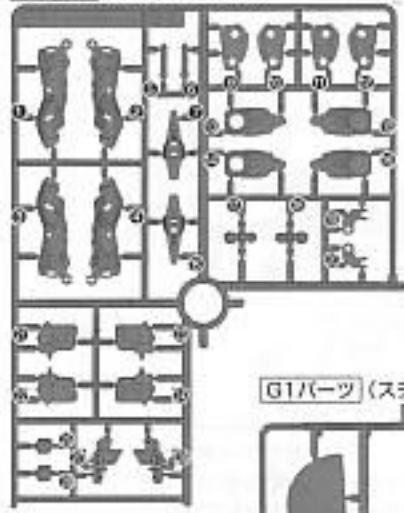
C2/パーツ (スチロール樹脂: PS)



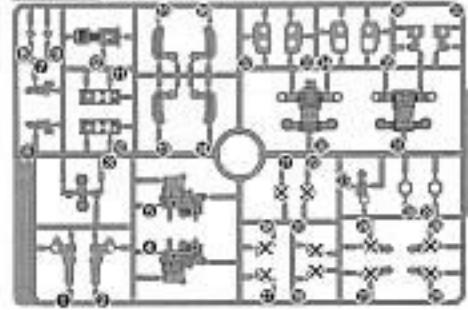
D/パーツ (スチロール樹脂: PS)



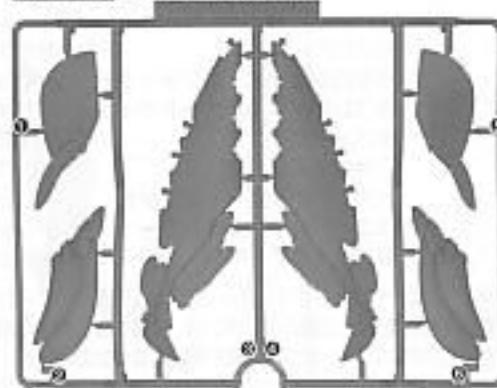
E/パーツ (ABS樹脂: ABS)



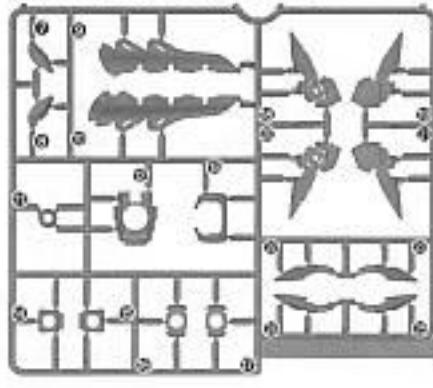
F/パーツ (ABS樹脂: ABS)



G1/パーツ (スチロール樹脂: PS)



G2/パーツ (スチロール樹脂: PS)



## Parts Name

## Parts List

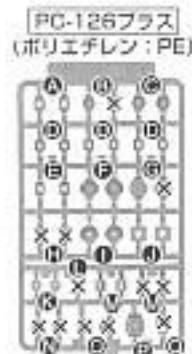
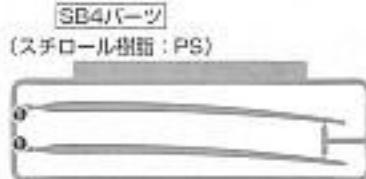
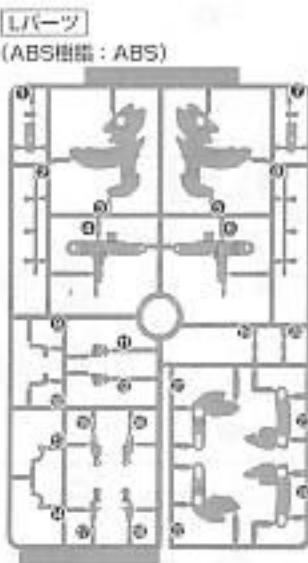
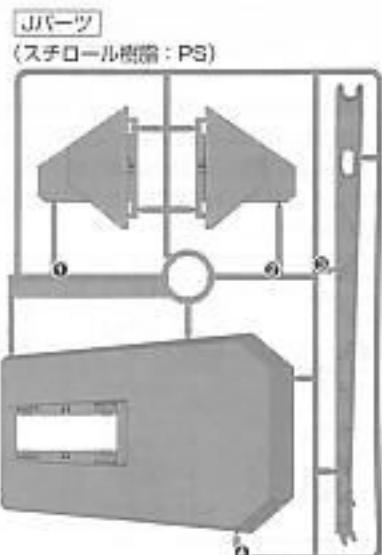
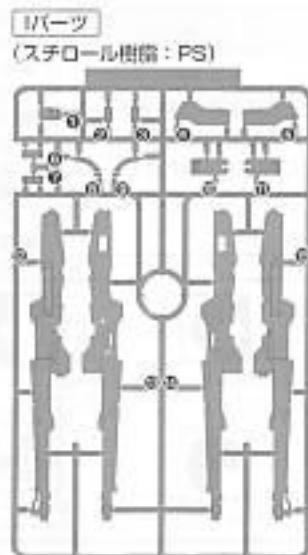
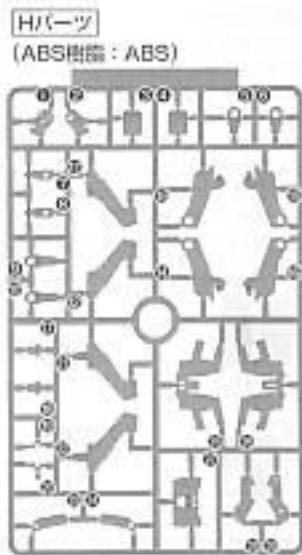
## Head & Body Unit

## Arm & Leg Unit

## Wing Unit

## Weapons

## Final Assembly



カラーシール ..... 1枚  
マーキングシール ..... 1枚  
ガンダムテカール ..... 1枚

（お問い合わせのお客様へ）部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき。封筒（裏面に必ずお客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求。表記額以下の時には強制をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター  
〒424-8735 静岡県静岡市清水西久保305  
TEL0543-65-5315

（料金表）●部品代は1個の料金です。

部品番号	取扱別冊	テカール類	J	C0-C0-C0-C0-G0-G0-J0	その他の部品
部品代	150円	各40円	150円	各100円	各40円
郵送料	200円	80円	140円	140円	120円

For Japanese use only.

部品注文カード

0129454-3800

1/100SCALE MGシリーズ  
ウイングガンダム ゼロ（エンドレスワルツ版）

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわしたなくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
年齢 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
04.10

2004.10/T・DN

\*コピー使用可

## △ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。(鋭い部品がありますので、安全上15才未満には販しません。)
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

## 組み立てる時の注意

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・描画をするところ



・シールの番号



・アカールの番号



・反対側に取り付ける



・両面に両面パーフを



・向きに注意して



・ビスの締めすぎに注意



・切り取るところ



・部品を数倍の個数



・先に組み立てます



・後で組み立てます



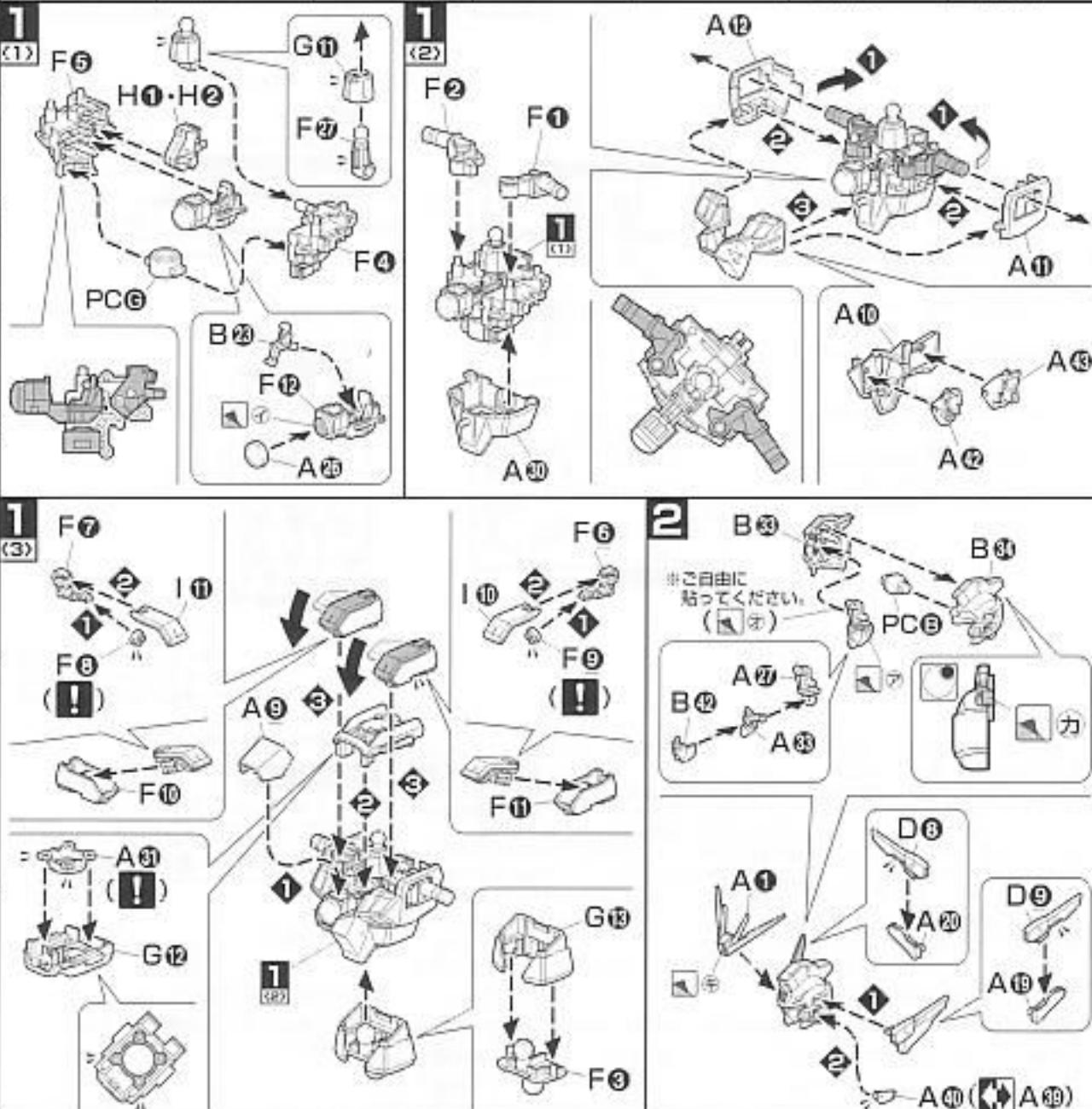
・基準に合わせて



・どちらかを選んで



・反対側も同じように



## HEAD UNIT

ウイングガンダムゼロのヘッドユニットには、各種のセンサーと、それにリンクしたゼロシステムの演算ユニットが高密度に実装されている。その時パイロットは、文字どおり、ゼロと同じものを見、聞き、感じることができる。

ゼロシステムは、システムが分析・予測した状況の推移に応じた対処法の選択肢や結果を搭乗者の脳に直接伝達する。単純にいえば、勝利するために取るべき行動をあらかじめパイロットに伝達するのである。その予測とは、基本的に戦術的な勝利を目的としたものであり、勝利のためであれば搭乗者の死傷をも測定する。つまり、搭乗者の事情や感情などにお構いなく、勝利のための行動を優先させようとするのである。さらにこのシステムは、コクピットに高性能なフィードバック機能を持ち、脳内の各領域の生体作用を走査し、逆に刺激を与えることができる。そして、走査された脳内の活動状況からパイロットのコンディションを読み取り、MSの機動や運動によって発生する衝撃や加速度などの刺激情報の伝達を緩和あるいはあざむき、人間の限界を超えた環境下での機体制御を可能とする。ハードとしてのゼロシステムは、コクピットブロックをはじめとする胸部に存在するが、頭部のセンサー類がもたらす膨大なデータが用ければシステムは機能しないことは言うまでもない。

その意味でウイングガンダムゼロの頭部は、最重要部位のひとつであることは動かし難い事実である。

## ARM UNIT

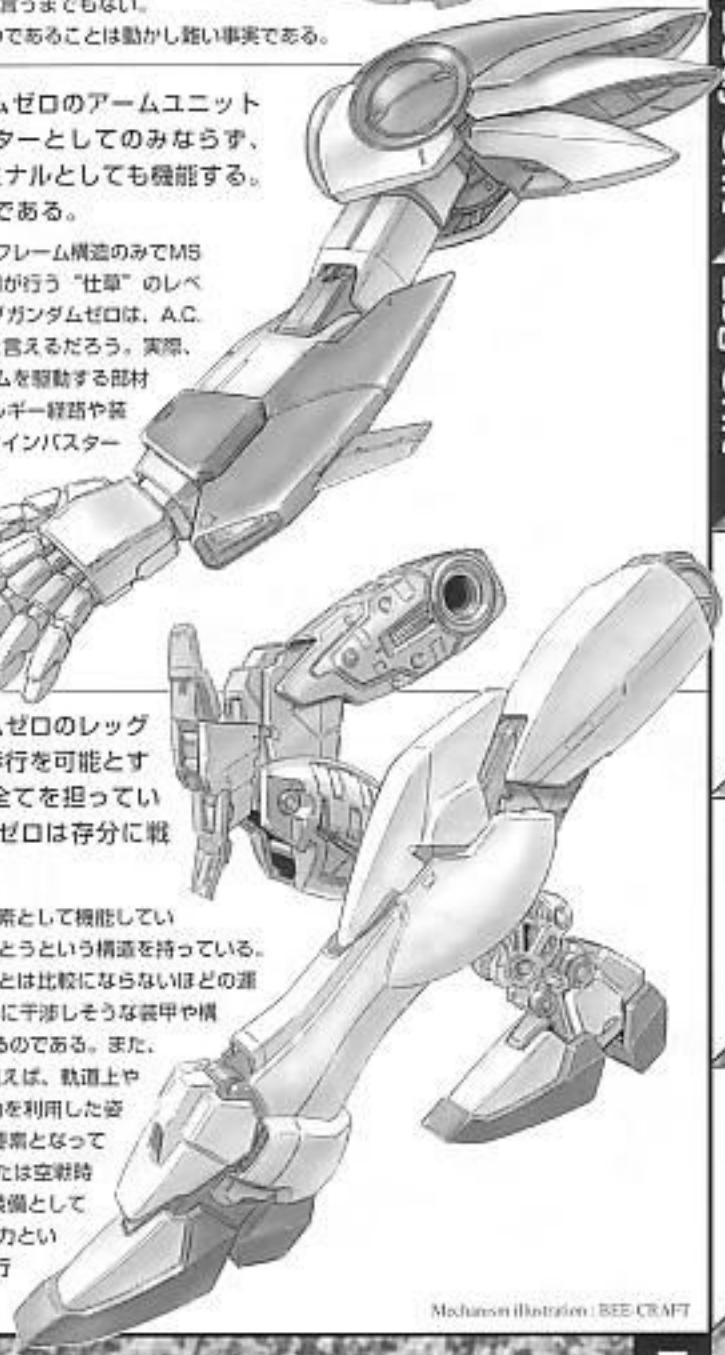
ウイングガンダムゼロのアームユニットは、マニピュレーターとしてのみならず、サーベルやライフルにエネルギーを供給するターミナルとしても機能する。それは、ゼロの力を発揮するために不可欠の部位である。

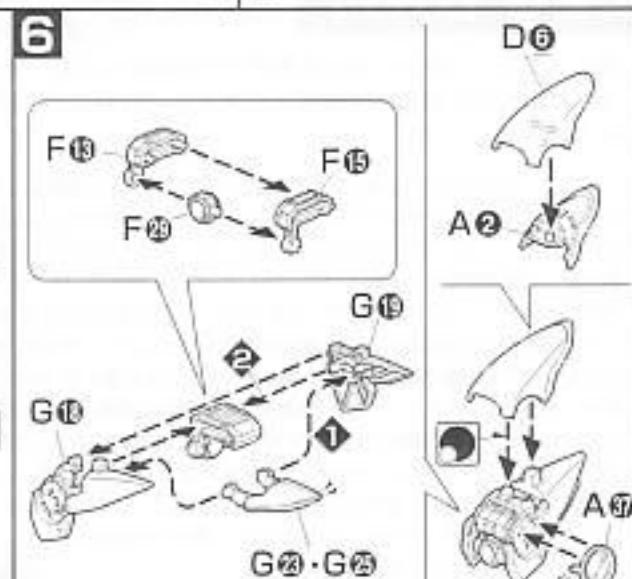
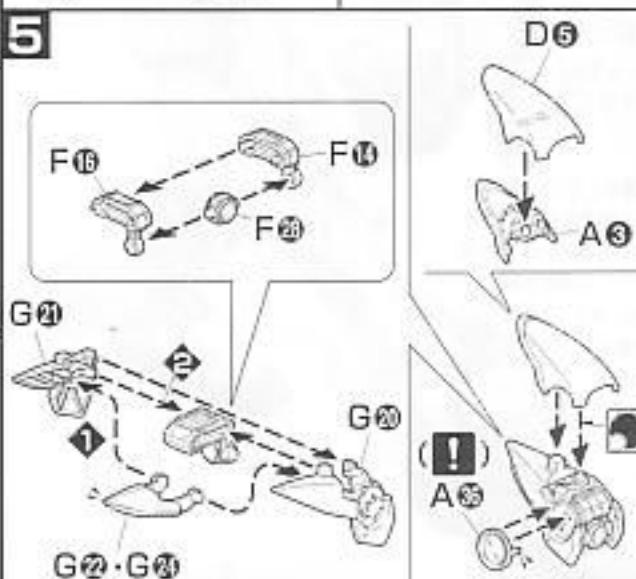
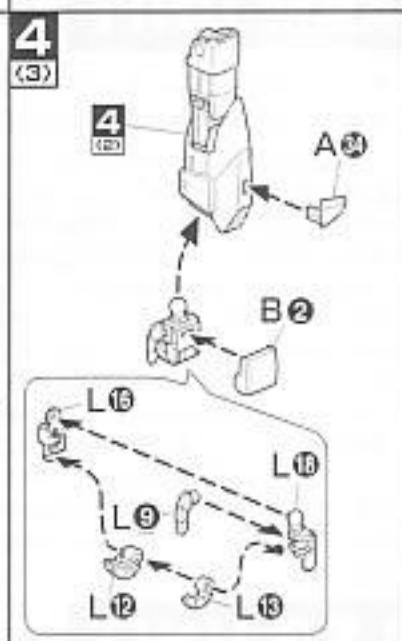
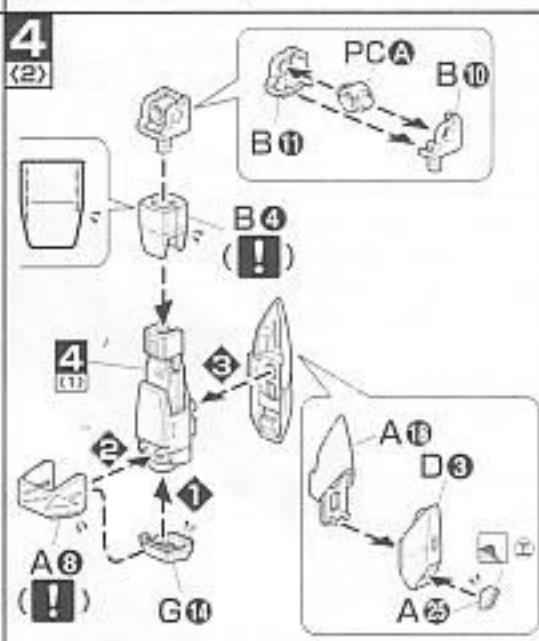
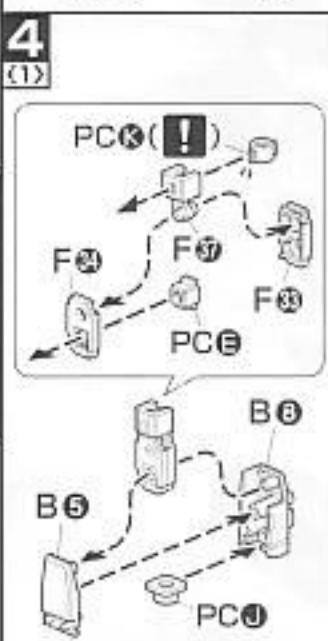
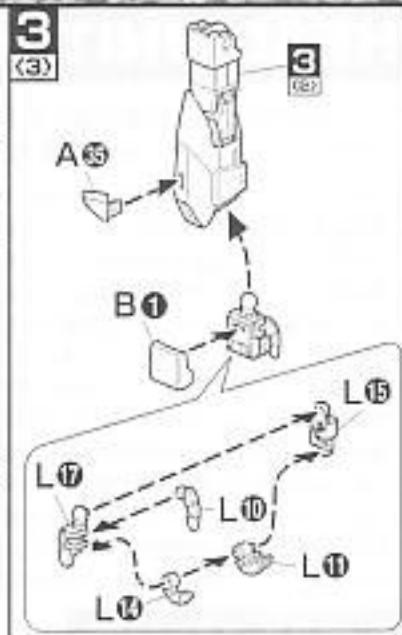
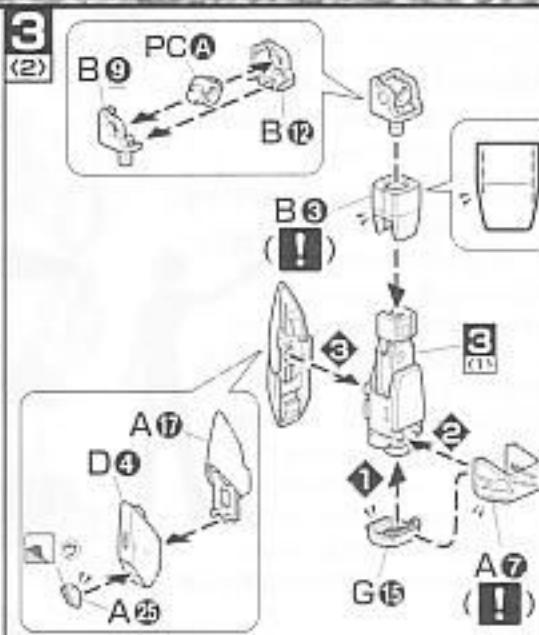
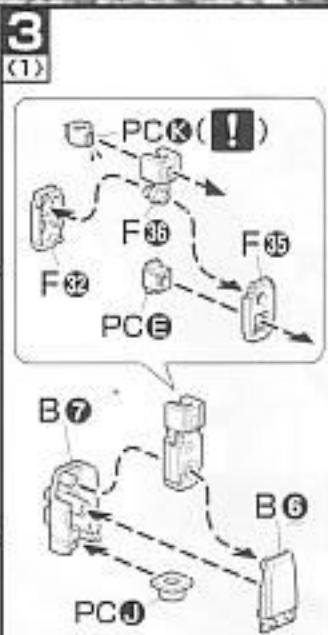
ウイングガンダムゼロの骨格はゼロフレームと呼ばれ、そのフレーム構造のみでMSに必要な動作をほとんどこなすことができる。それはまさに人間が行う“仕草”的レベルまでもが再現可能であり、この細緻さがあつて初めてウイングガンダムゼロは、A.C.戦における“ガンダム”的始祖として完成することができたと言えるだろう。実際、このゼロフレームは単なる骨格ではなく、四肢やボディフレームを駆動する部材がすべて盛り込まれているのである。つまり、武装用のエネルギー経路や装甲は、艦体から完全に独立しているのである。だからこそ、ツインバスター・ライフルにコロニーを破壊するほどのエネルギーを供給することもできるし、何枚の敵機から攻撃を受け続け、艦体が壊滅的損傷を被っても戦闘能力を維持することができる。無論、完成までにおよそ20年分の技術革新はあったにしても、その設計思想が先進的であったからこそ、そのタイムスパンを内包したまで完成できたのだろう。

## LEG UNIT

ウイングガンダムゼロのレッグユニットは、単に歩行を可能とするだけでなく、地上における飛行以外の機動力の全てを担っている。この部位の堅牢さと繊細さがあつて、初めてゼロは存分に戦えるのである。

ウイングガンダムゼロの脚部もまた、ゼロフレームの構成要素として機能している。実際ウイングガンダムゼロは、フレームに武装や装甲をまとめるという構造を持っている。このことが、ウイングガンダムゼロに“ガンダム”以外のMSとは比較にならないほどの運動性能と可動範囲をもたらしている。つまり、可動の際に互いに干渉しそうな装甲や構造物は、フレームから“浮かせて”移動させることができるとなるのである。また、“歩行”を行うMSの脚部は、機体質量のほぼ半分を占める。例えば、軌道上や惑星間などの無重量空間において、四肢の可動による質量移動を利用した姿勢制御は、そのレスポンスが対MS戦闘においては特に重要な要素となっている。つまり、MSの脚部とは、重力下における歩行装備、または空射時のランディングギアとしてのみならず、無重量空間での機動装備としても欠かすことのできない部位なのである。ちなみに、移動能力ということで言えば、ウイングガンダムゼロには専用の惑星間航行用のブースターユニットも用意されている。





# WING UNIT

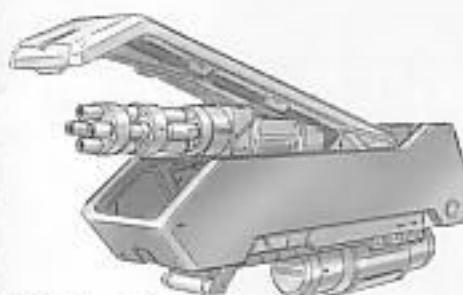
ウイングガンダムゼロは、特性の異なる二種類のウイングユニットを二対持っている。それぞれの翼は、空力、質量移動などによる機動装備として、あるいは防御装備として破格の機能を持つ。

ウイングガンダムゼロのウイングユニットは、複数のブロックからなるメインフレームにアーフのフレキシブルカナードウイングが直結し、翼面構造そのものが自在に形状を変えることで、空力的にリアルタイムでの制御を可能としている。これらの装備は、機体の機動装置であると同時に防御装備でもある。機体前面を覆うことのできる主翼とバニアを内蔵する副翼を持ち、その基部は高特點で加減速を繰り返す機体そのものを整型するほどの強度を持っている。このフレキシブルウイングステーは、構造上、四肢に次ぐ第五肢、第六肢に相当し、無重量空間では能動的な質量移動による機動装置となり、大気圏内では空力的にも文字どおりの翼として機能する。主翼の基本骨格は、ゼロフレーム本体に準じた構造で構成されており、時には堅牢に、時には柔軟に可動する。翼を構成する“羽根”もまた、ガンダニウム合金に分類されるマテリアルが使用されており、羽根の形状そのものは構造的に実在の鳥類のものを模している。そして、耐熱、耐衝撃機能を持つ羽根状素材がフラクタルに展開されていて、それぞれの部品が単位ごとに形状や位置情報を記憶しており、相互に補い合う機能を持っている。これらはナノレベルで制御されており、ガンダニウムの持つ特性を最大限まで活用した芸術品とも呼べるバージなものである。衝撃に対しては自ら吸収することで、高温に対しては自ら剥離することで、主翼そのものも含む本体を保護する機能を持っている。副翼は機能的にバニアとして特化されており、主翼を二枚とも喪失したとしても、機動性や飛翔能力そのものが失われることはほとんどない。当然、副翼の外装にも主翼の“羽根”と同等の素材が使用されており、通常の兵器が装備する“翼”とは次元の違う耐久性を持っていることができるだろう。



# WEAPONS

ウイングガンダムゼロの武装は、あらゆる局面に対応可能でありながら、その機能と効果が非常に絞り込まれている。しかし、ゼロの持つ破壊係数は、これらのみによってもたらされているわけではない。

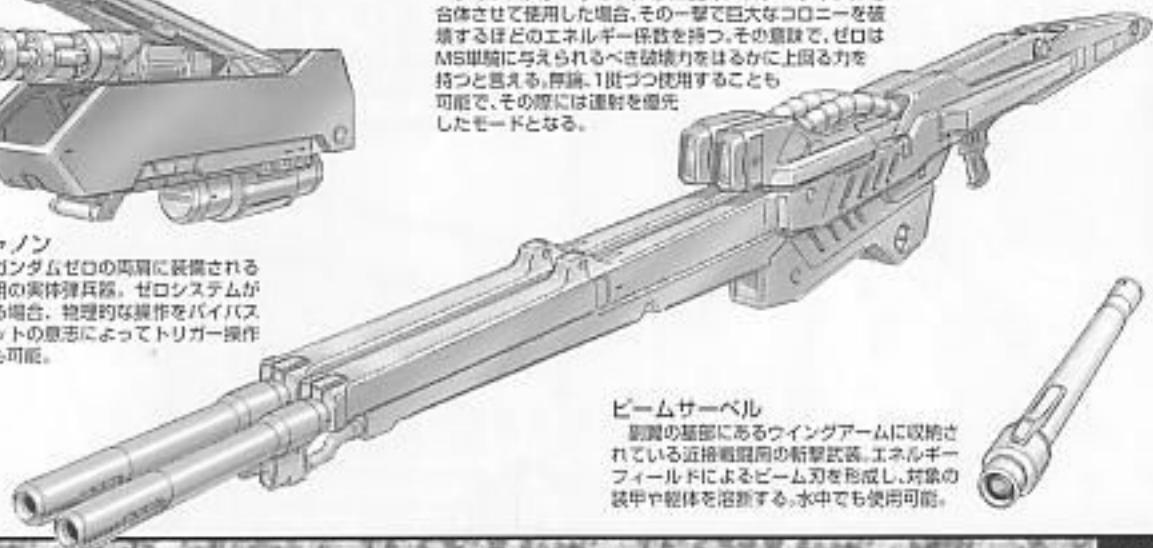


マシンキャノン

ウイングガンダムゼロの両肩に装備される近一中距離用の実体弾兵器。ゼロシステムが発動している場合、物理的な操作をバイパスし、パイロットの意志によってトリガー操作を行うことも可能。

## ツインバスターライフル

ツインバスターライフルは、2挺のバスターライフルを合体させて使用した場合、その一撃で巨大なコロニーを破壊するほどのエネルギー保有を持つ。その意味で、ゼロはMS軍隊に与えられるべき破壊力をはるかに上回る力を持つと言える。序盤、1挺づつ使用することも可能で、その際には連射を優先したモードとなる。



## ビームサーベル

副翼の基部にあるウイングアームに収納されている近接戦闘用の斬撃武器。エネルギーフィールドによるビーム刃を形成し、対象の装甲や軽体を溶解する。水中でも使用可能。

Parts Name

Parts List

Head & Body Unit

Arm & Leg Unit

Wing Unit

Weapons

Final Assembly

# FIGHT'S ON

# Documentary Photographs

## SILENT ORBIT

A.C.0196年。5機のガンダムの出現によって始まった戦争の終結と共に、地球圏統一国家が成立し、戦争のための兵器はすべて廃棄されることになった。人類の悲劇であった平和を手に入れた地球圏にとって“ガンダム”的存在は争いの火種でしかない。そう考へたカトルの提案により、五飛を除く4人の少年たちはガンダムの破壊を決めた。カトルとデュオは、送られてきたヒイロのウイングガンダムゼロとトロワのヘビーアームズと共に、自らのサンドロック、デスサイズを飛来資源衛星に飛せると、そのコースを太陽へと向け、苦難を供にした愛機に別れを告げる。だがしかし、時代は未だ“ガンダム”を、そして“ガンダム”を駆る意志を持つ者たち”を必要としていた……。

## A WING SWEPT DOWN

かつての世界国家軍の司令部、資源衛星MO-2において終戦一周年を祝う式典が開催されていた。今はブリベンターとして共に活動しているノイン、サリィ、レディラは、不吉な兆候に不安を感じていた。リリーナの失踪を英難として、地球圏は再び混亂に陥った。トレーズ・クシュリナーダの娘マリーメイアがコロニーの独立を宣言すると共に、越境に対し宣戦を布告したのだ。そして、バートン財団が密かに量産していたネオ・チタニウム製のMS“サーベント”が大挙して地球へと襲いかかる。マリーメイア軍は、瞬く間に地球圏統一国家大統領府を制圧する。その混乱のさなか、5人の少年たちは、再びそれぞれの戦いへと赴く。マリーメイア軍のシャトルを奪い資源衛星から脱出したヒイロは、カトルが回収したウイングガンダムゼロとの合流に成功。ゼロは再び、その白き翼を広げ、地球へと向かって羽ばたいた!!



## RETURN TO FOREVER

地球を目指すヒイロの前に“ナック”を駆る五飛が立ちはだかった。ゼロはアルtronともみ合いながら大気圏に突入していく。「五飛…トレイズはもういない。お前が倒したんだ!!」「違うっ、俺は今でも奴と戦っている!!」「五飛、教えてくれ。俺たちはあと何人殺せばいい。俺はあと四四三の子とあの子犬を殺せばいいんだ」ヒイロはゼロの体力を切って落し始めた。「ゼロは何も言ってくれない…。教えてくれ、五飛」ゼロはそのまま背窓に没し、五飛は無言でその場を立ち去る。一方、敵兵を傷つけないよう不判の戦いを繰り広げ、敵の本陣を日暮にしながら武器を使い果たしたトールギスIII、トーラス、そして3種のガンダムは、サーベント部隊に包囲され絶体絶命の危機に陥っていた。その時、水底から目覚めたヒイロのウイングガンダムゼロがはるか上空に姿を現す。サーベント部隊の攻撃を気にも止めず、ツインバスターライフルを構えたヒイロは、リリーナが軟禁されているシェルターの中のマリーメイアに向いかける。「確認する。シールドを張っているな。シェルターは完璧なんだな」「もちろんです。あなたたちの無力さを思い知りなさい!」「了解した」言い放つや、ヒイロはビームを撃つ!!!

## ACTION POSE



## WEAPONS

ツインバスターライフル、ビームサーベル等の武装をセット。



## MARKING

ウイングガンダムゼロのイメージを広げる音楽オリジナルのデザインも含めたマーキングシール、ガンダムデカールが付属。

# PAINTING

よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。  
塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- 本体ホワイト部の塗装色。  
ホワイト(100%) +キーピーブル少量  
またはガンダムカラー ホワイト
- 脚等ブルー部の塗装色。  
コバルトブルー(70%) +インディブルー(30%) +モンザレッド少量 +ホワイト少量  
またはガンダムカラー ブルーG
- ケン等レッド部の塗装色。  
シャインレッド(80%) +レッド(20%)  
またはガンダムカラー レッド
- アンテナ等ゴールド部の塗装色。  
ゴールド(100%)の上からクリヤーエロー(100%)
- 脚等グレー部の塗装色。  
ニュートラルグレー(80%) +ブラック(20%) +バーブル少量  
またはガンダムカラー グレーG
- 目等クリヤーグリーン部の塗装色。  
クリヤーグリーン(100%)
- 機上部センサー クリヤーパープル部の塗装色。  
クリヤーレッド(80%) +クリヤーブルー(40%)
- ツインバスター・ライフル ダークグレー部の塗装色。  
ニュートラルグレー(70%) +ブラック(30%) +レッド少量 +バーブル少量
- ライフル、センサー グリーン部の塗装色。  
シルバー(100%)の上からクリヤーグリーン(100%)

## FRONT VIEW



## REAR VIEW



▲ 背中の4枚の翼は翼面積を拡大する可変ギミックを搭載。  
小羽に合成ゴム素材を使用し、柔軟な表現が可能。  
4枚の翼がフレキシブルに可動して、大気圧突入形態を再現。



▲ 機体各部の内部フレームをリアルに再現。脚部等、MGならではの広範囲な可動を実現。

## Parts Name

## Parts List

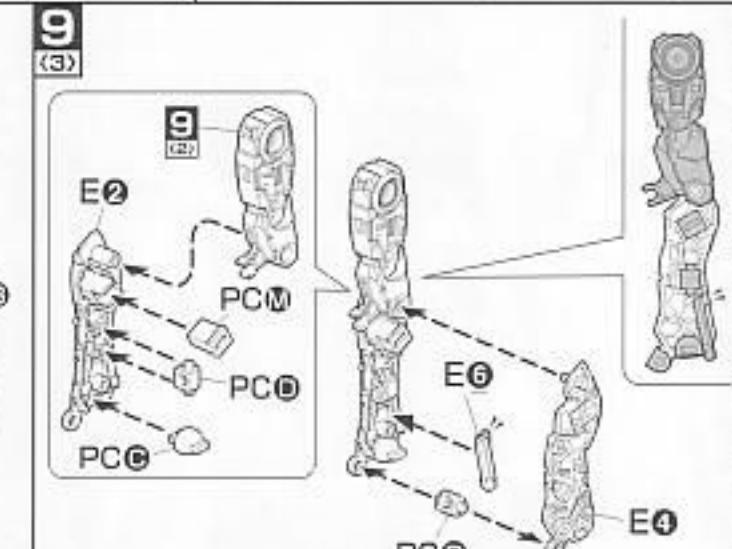
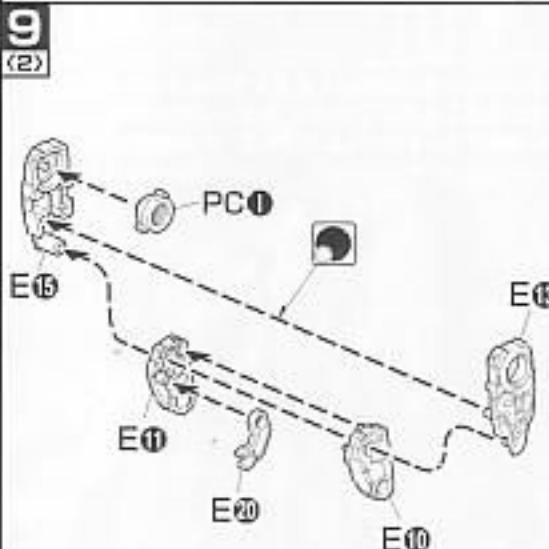
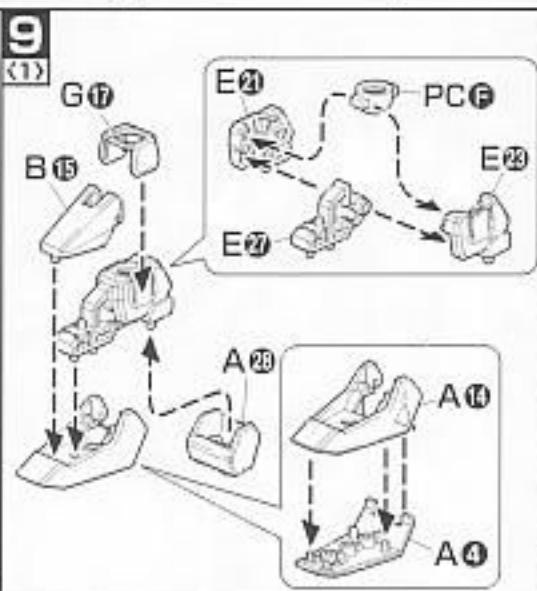
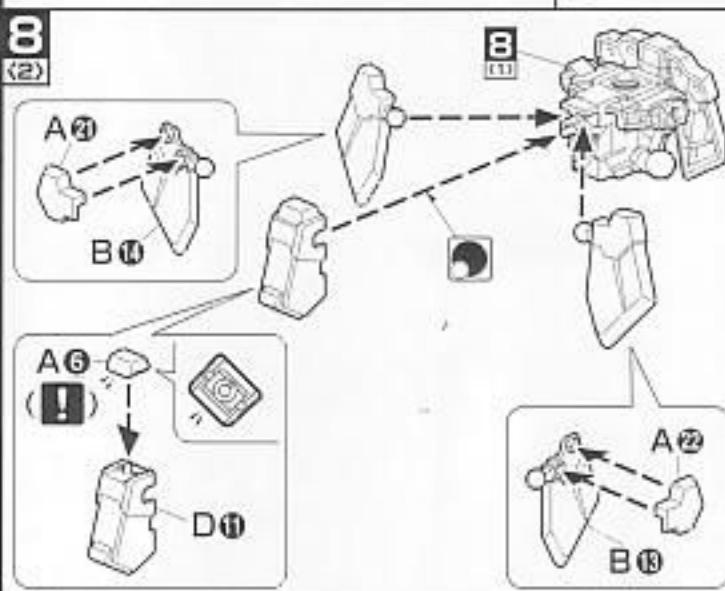
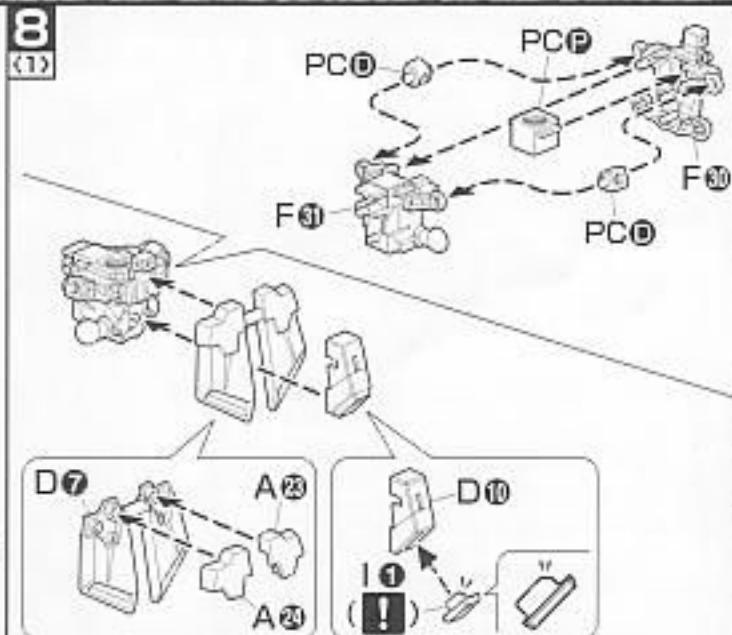
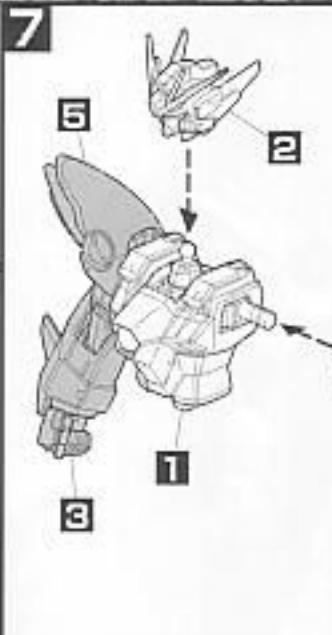
## Head &amp; Body Unit

## Arm &amp; Leg Unit

## Wing Unit

## Weapons

## Final Assemble



Parts Name

Parts List

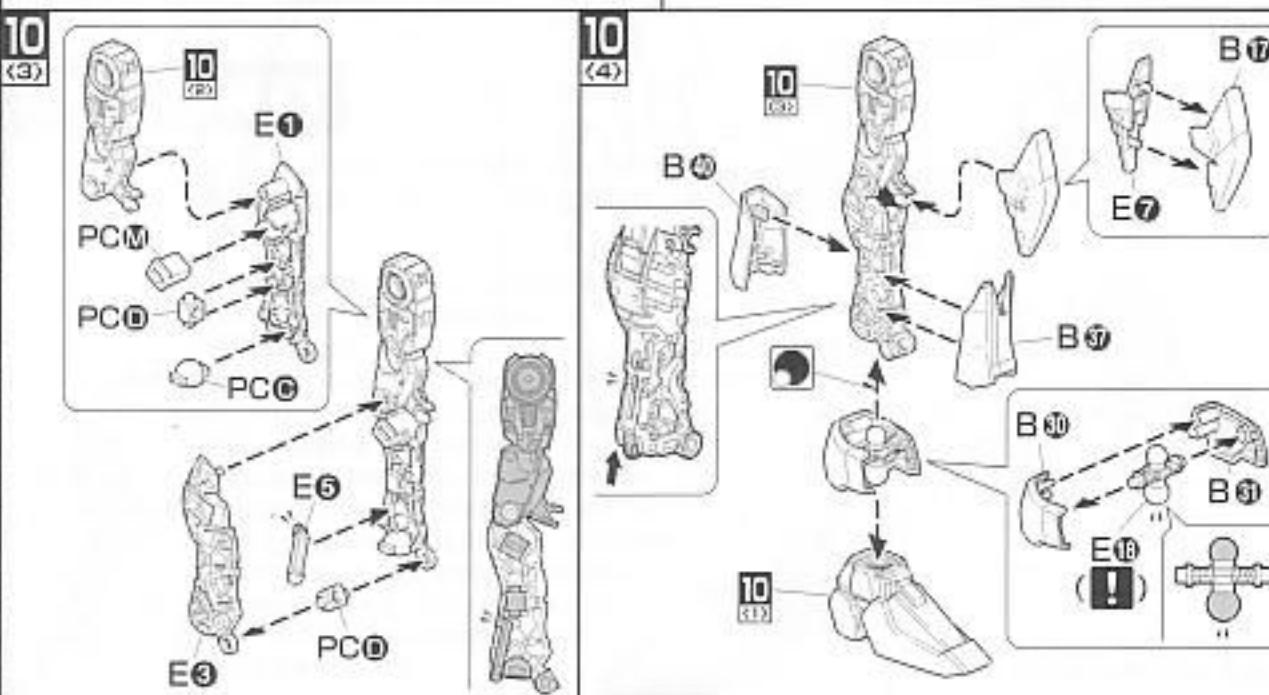
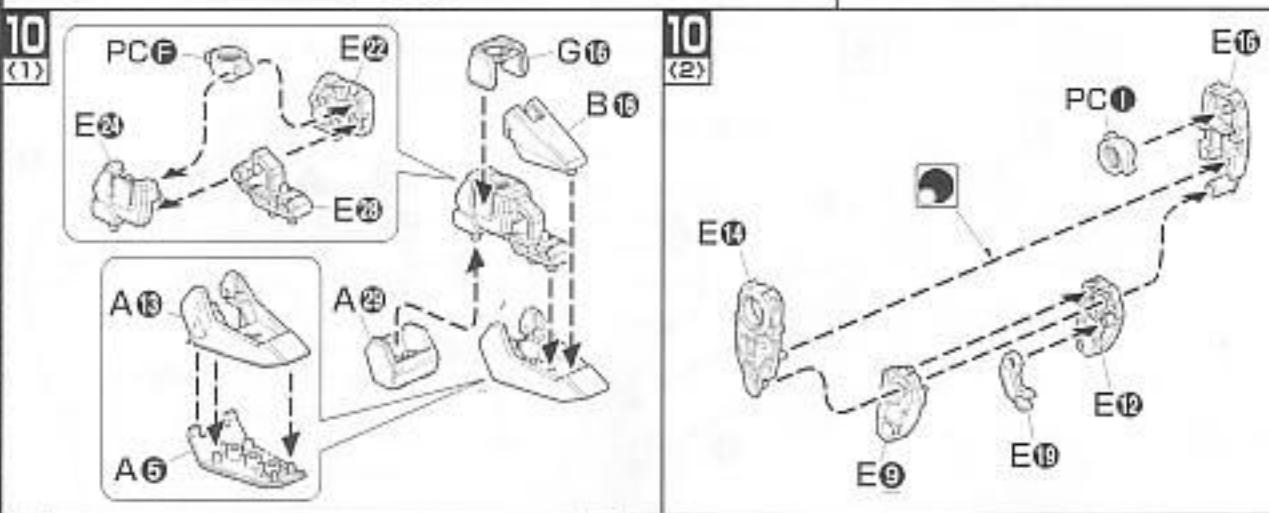
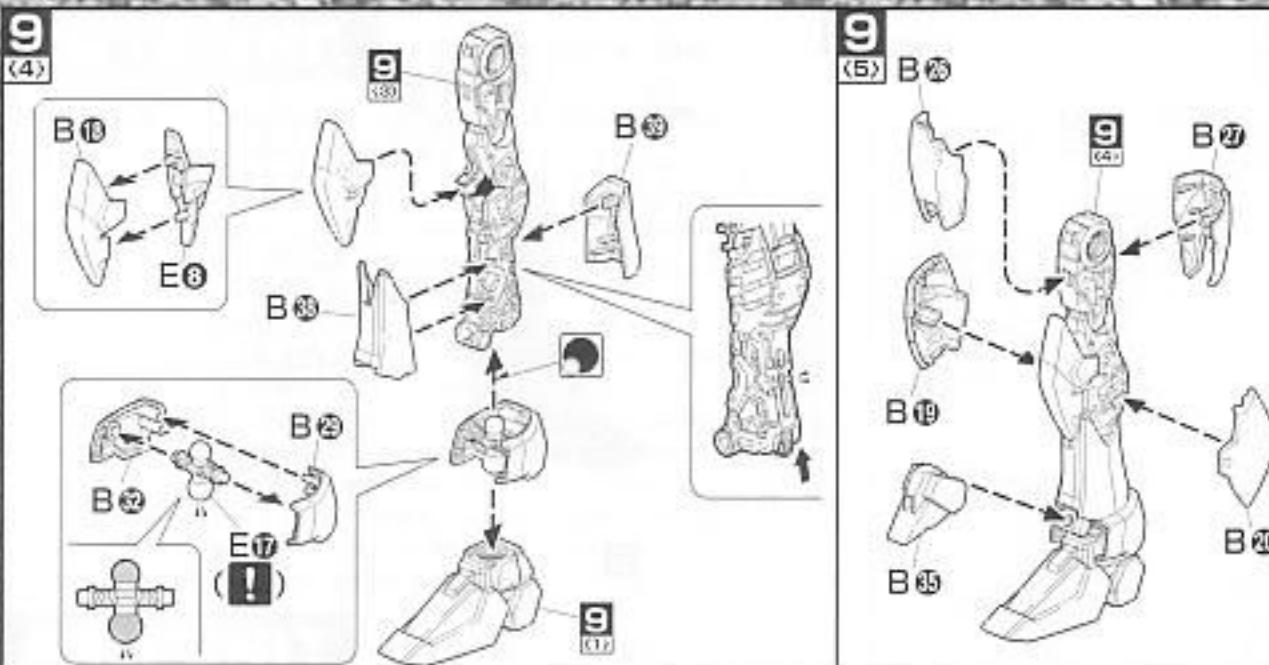
Head & Body Unit

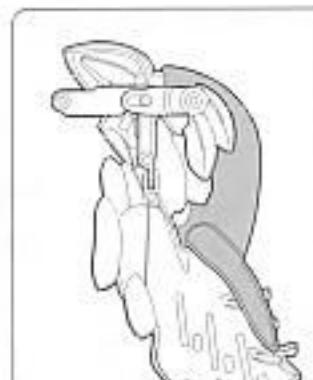
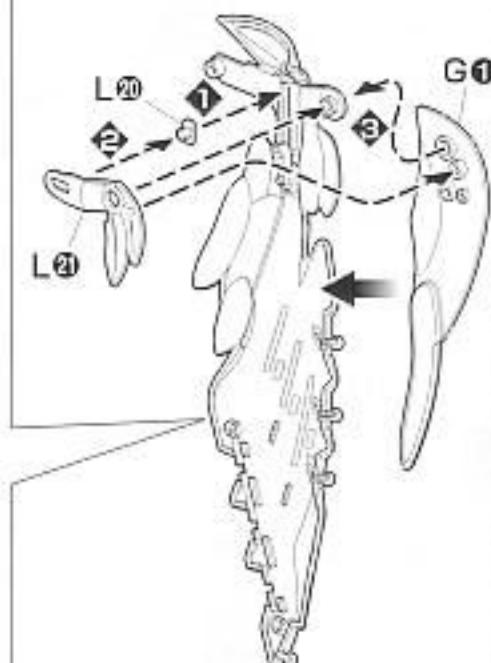
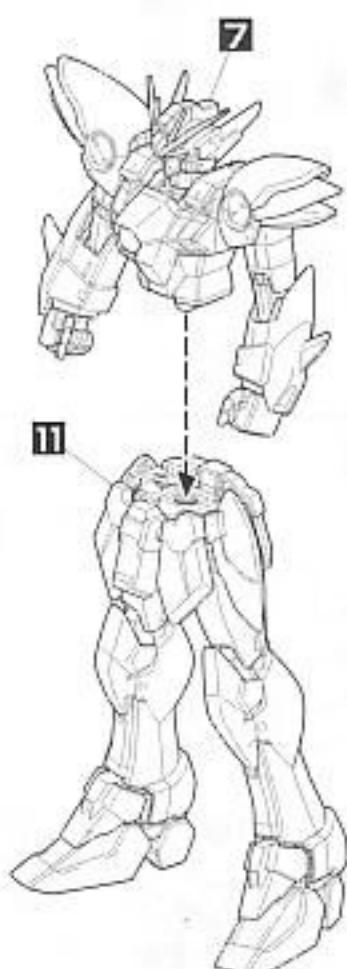
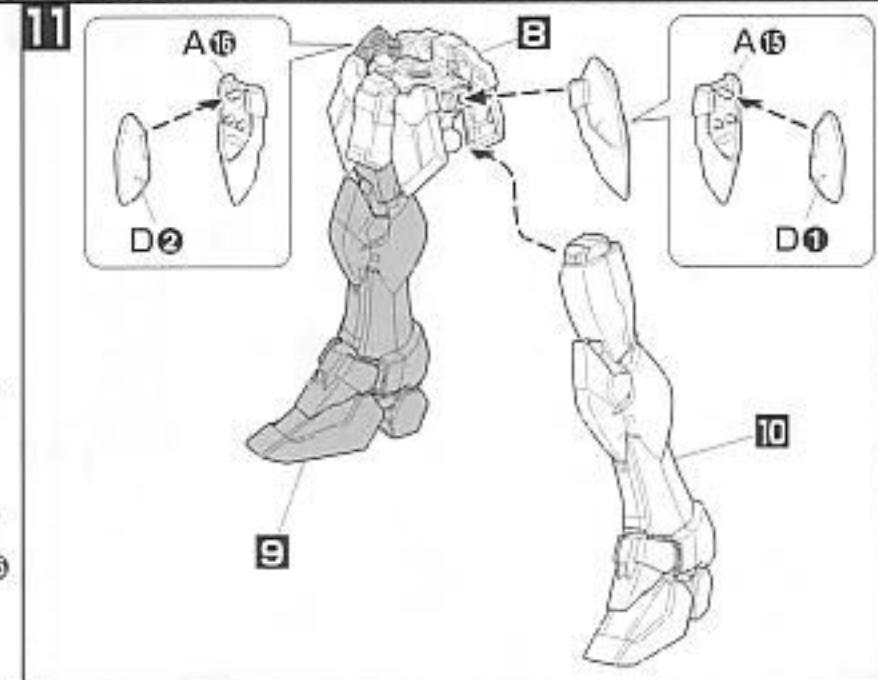
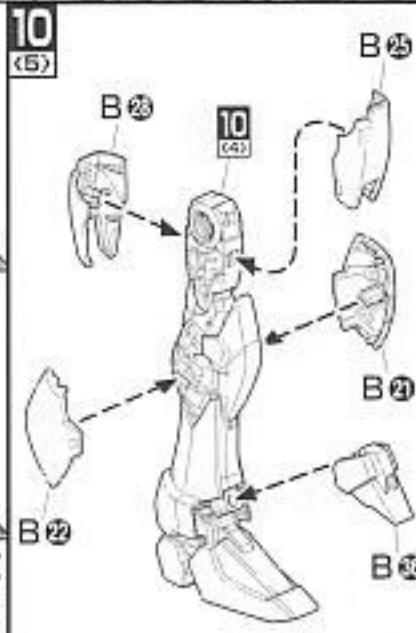
Arm & Leg Unit

Wing Unit

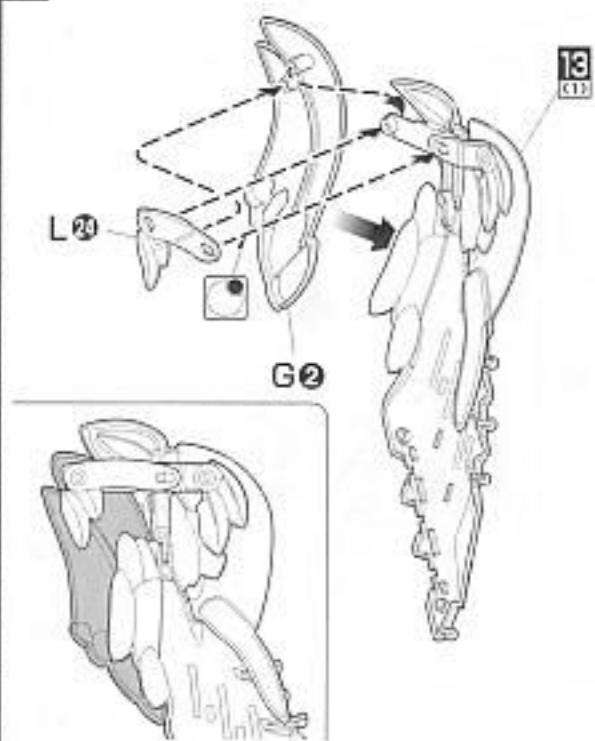
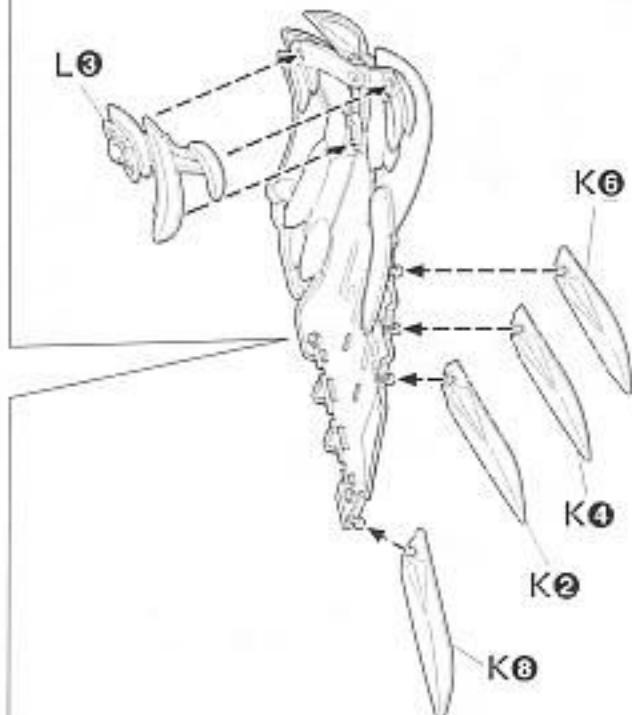
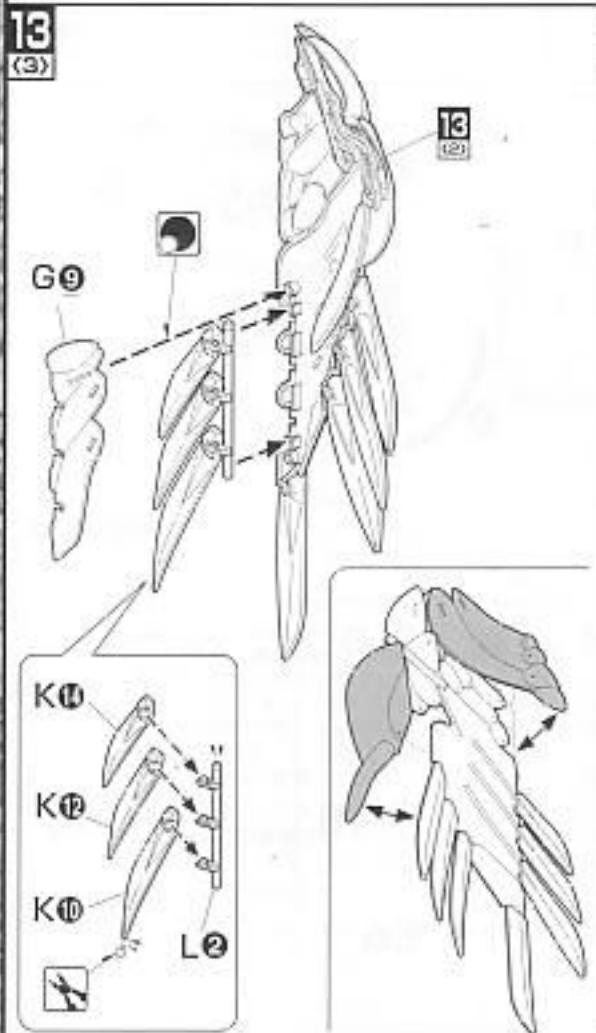
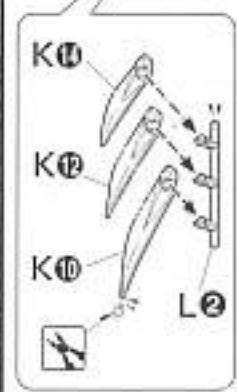
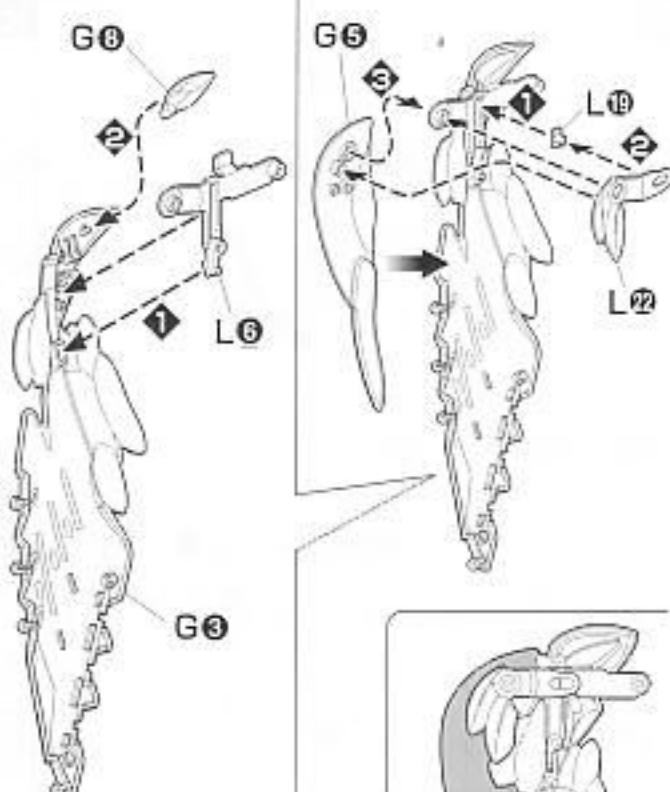
Weapons

Final Assembly





※B⑨は好みの場所に飾ってください。

13  
(2)13  
(3)13  
(3)14  
(1)

Parts Name

Parts List

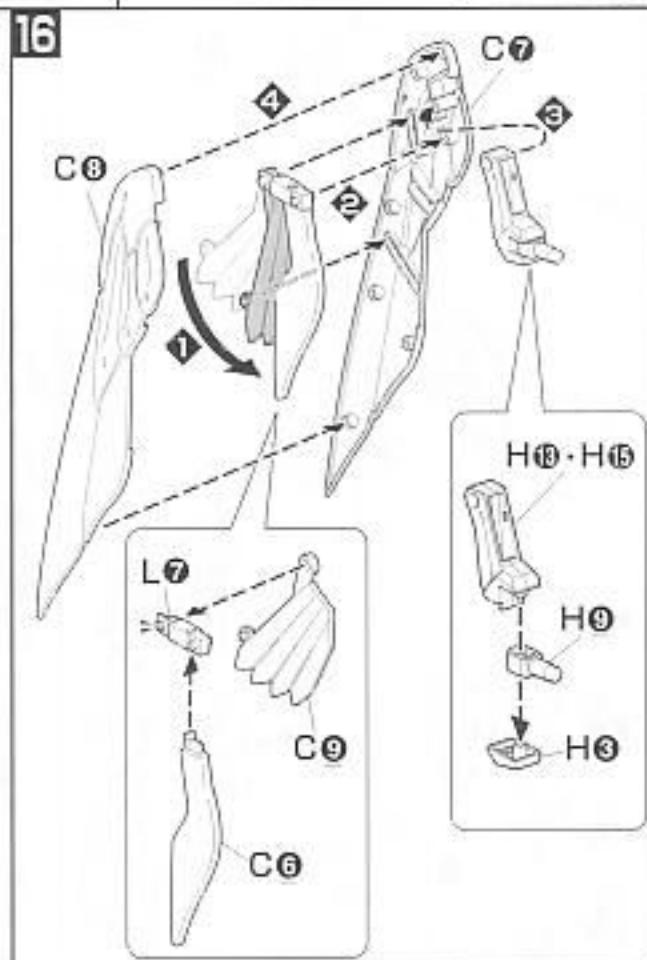
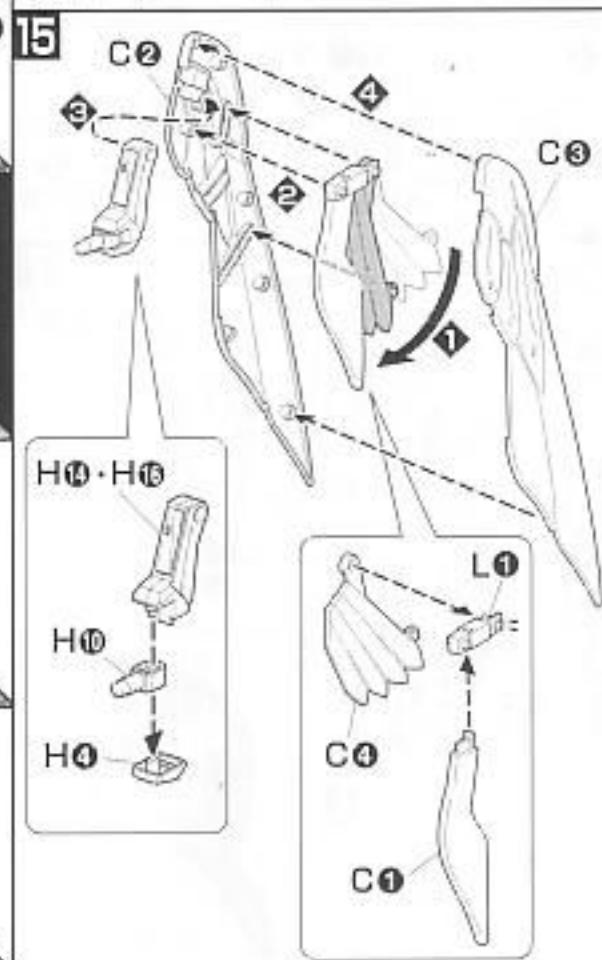
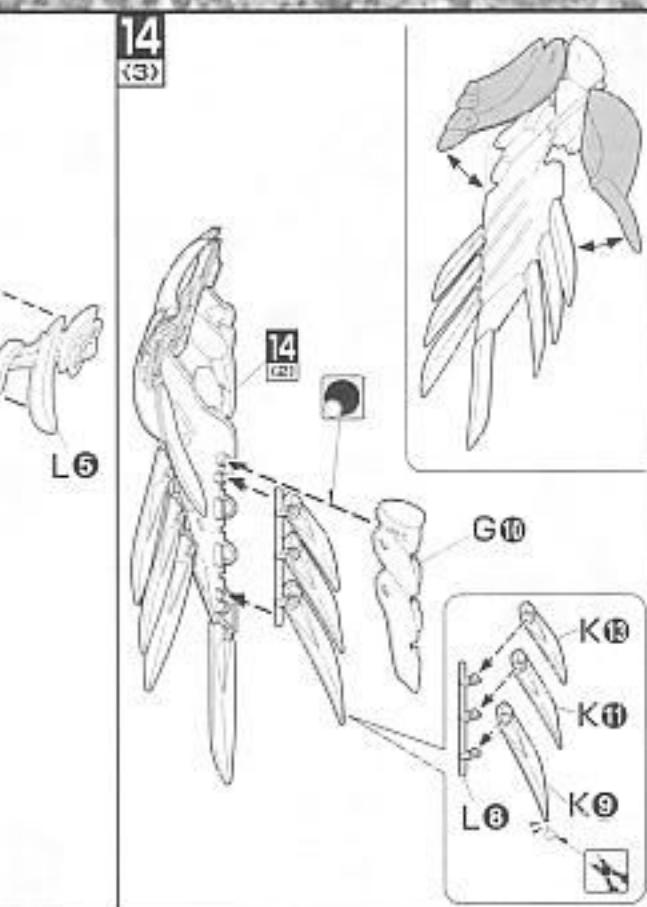
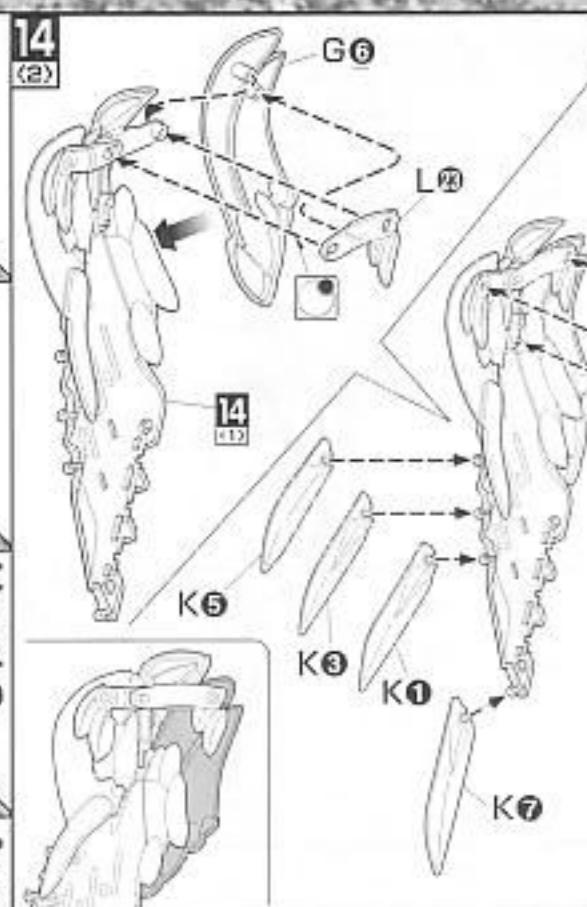
Head & Body Unit

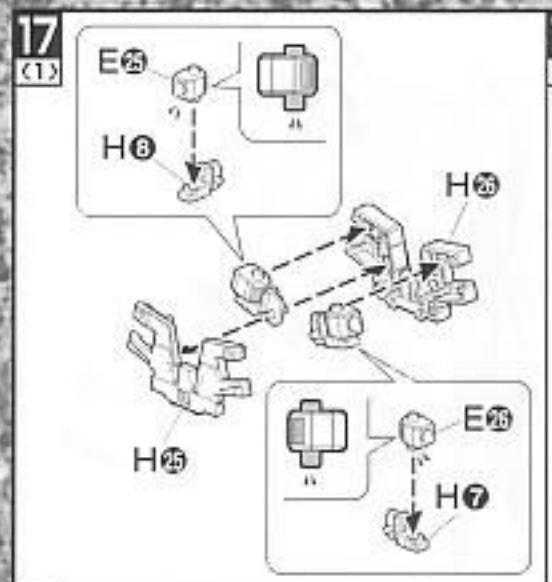
Arm & Leg Unit

Wing Unit

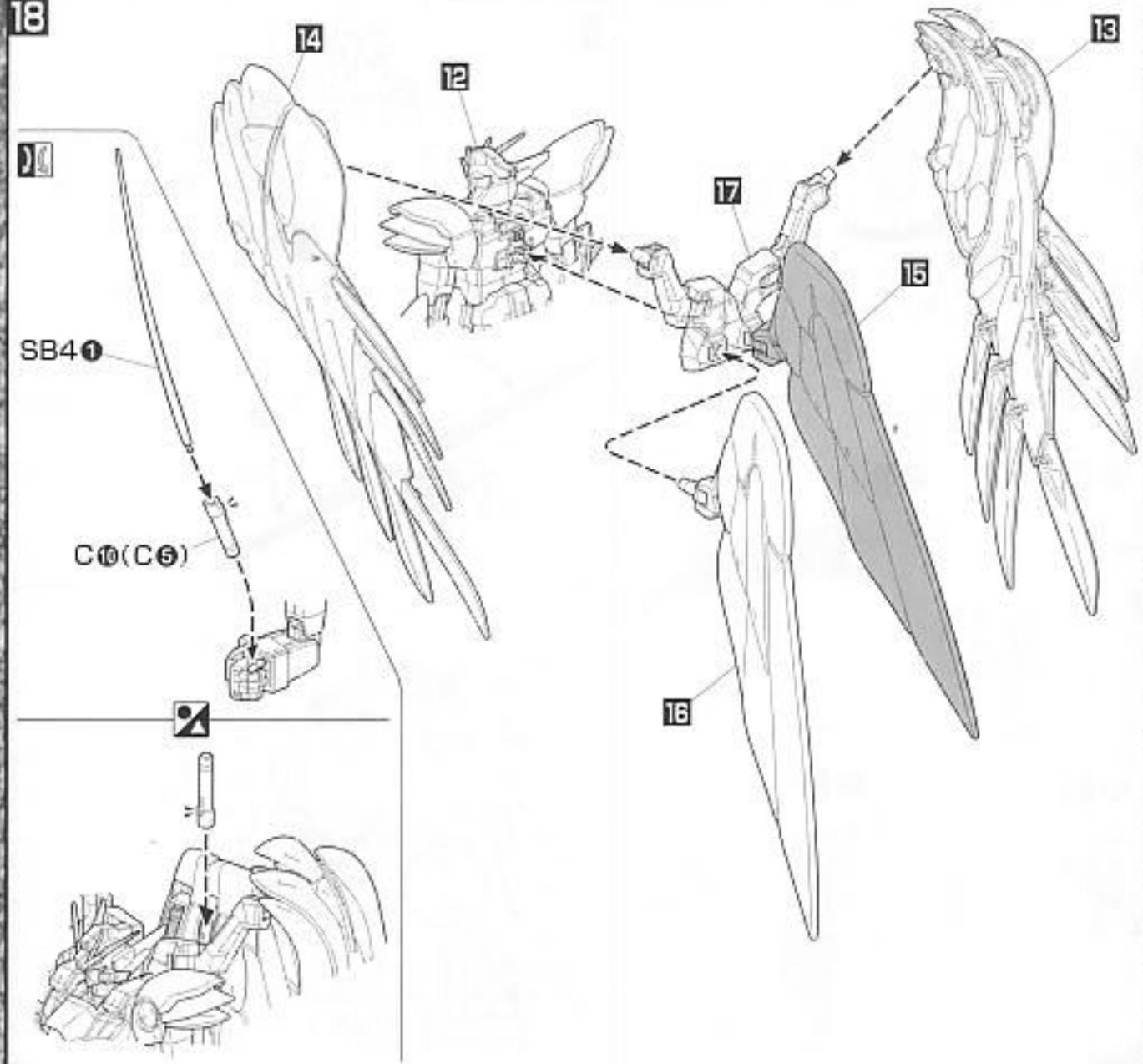
Weapons

Final Assemble

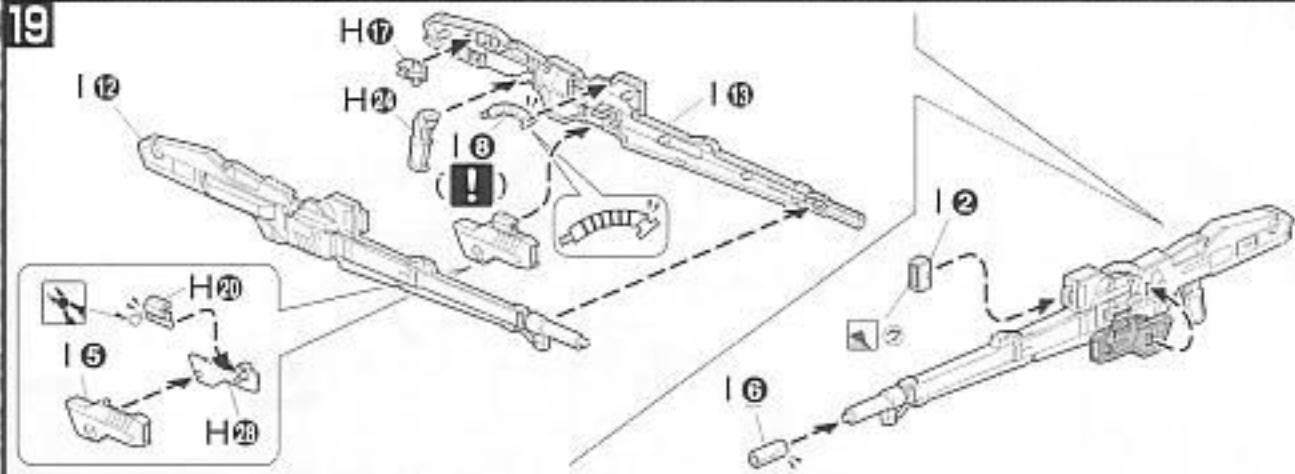




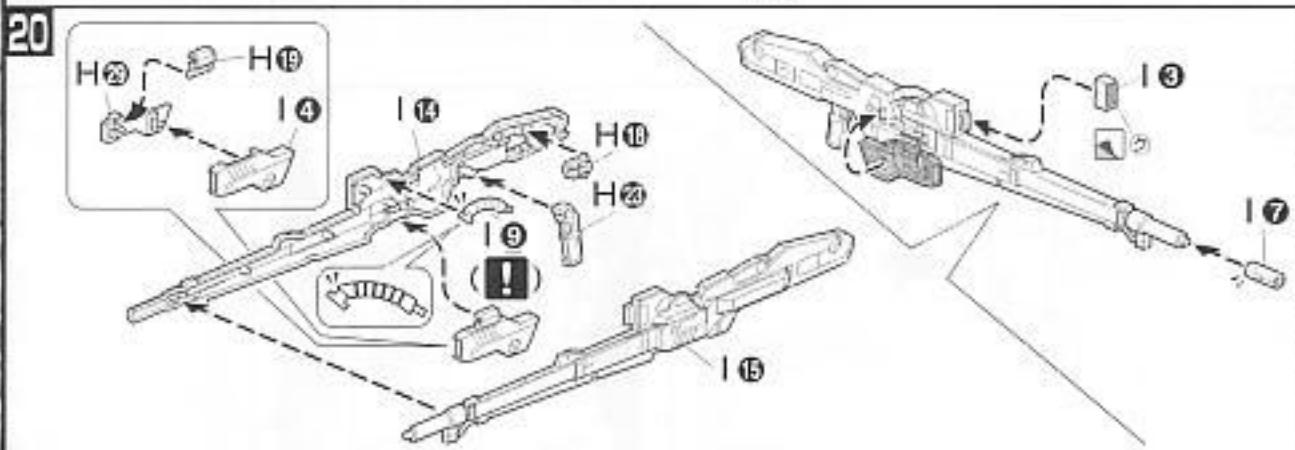
**18**



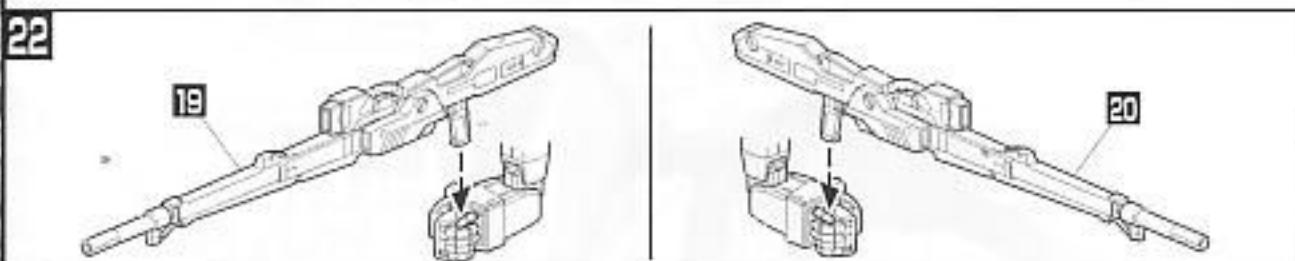
19



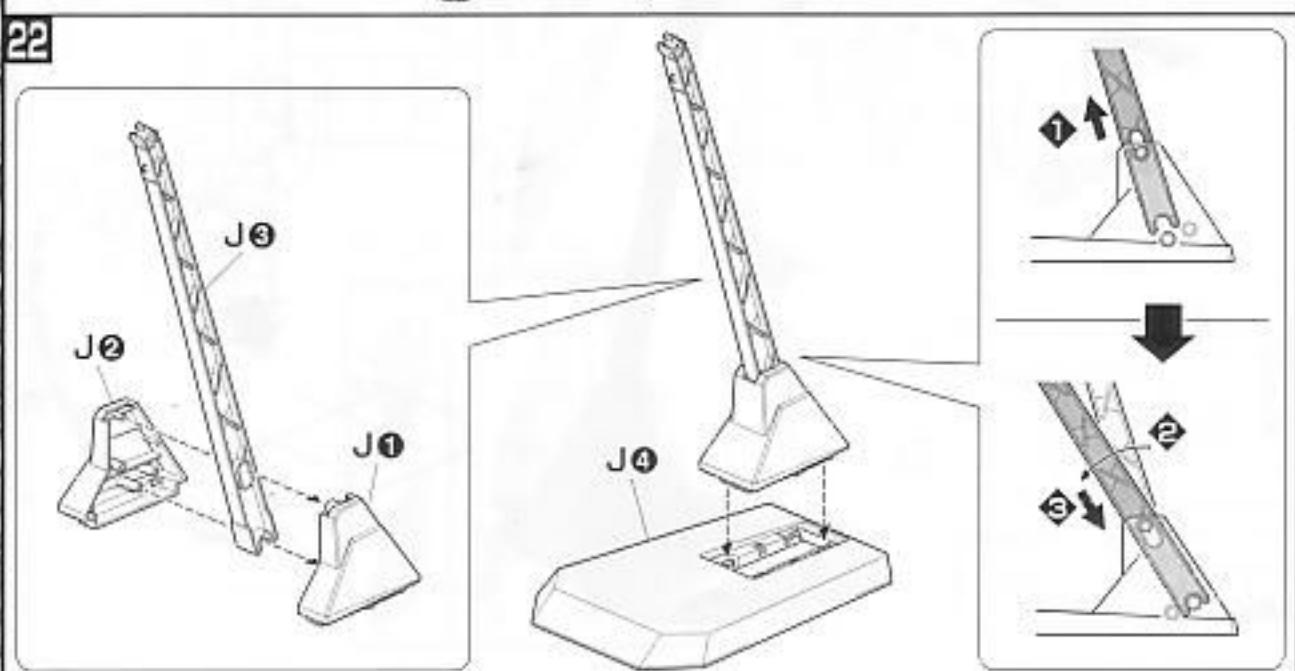
20



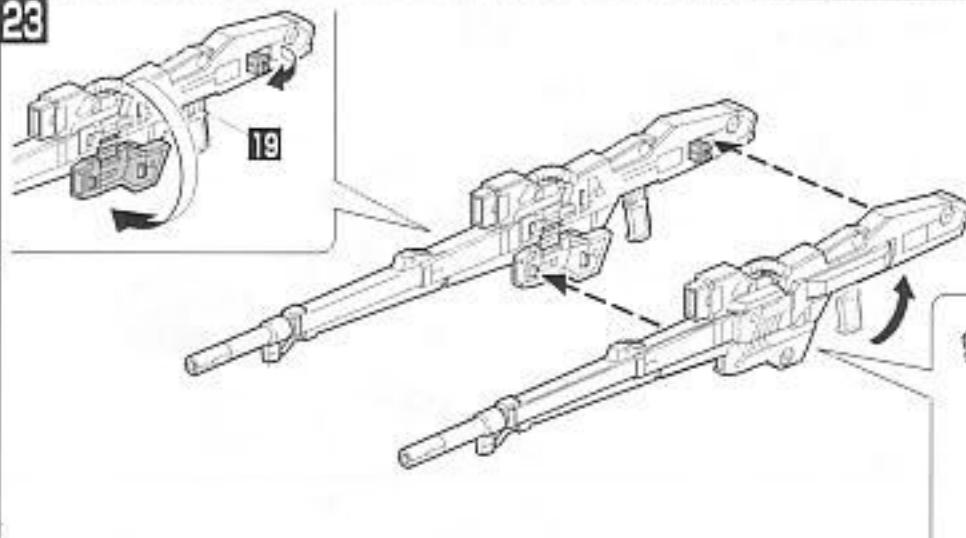
21



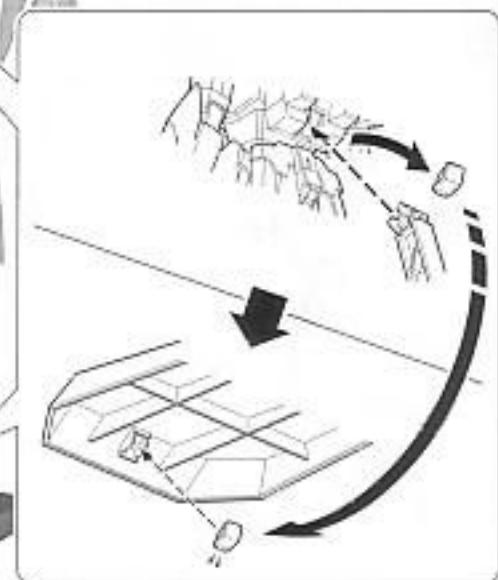
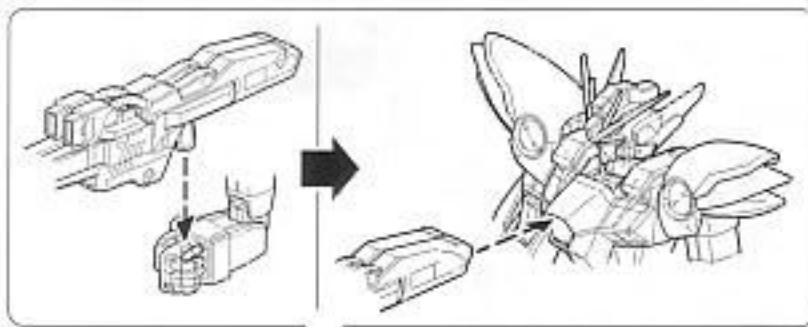
22



23



24



25  
(1)

◆ 1

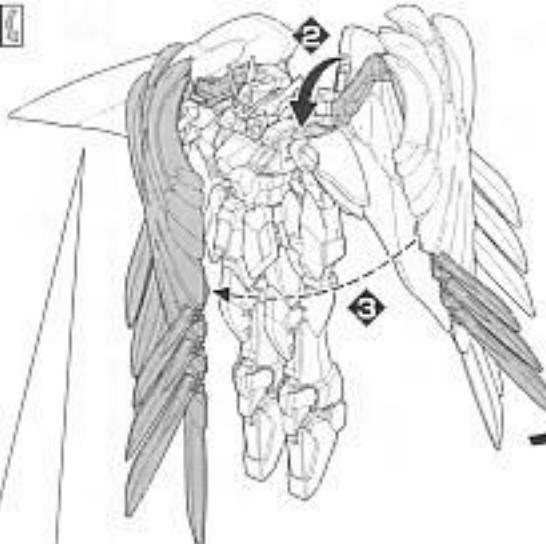


→

◆ 2

25  
(2)

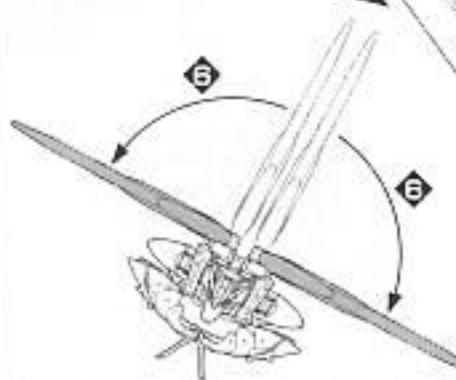
◆ 2



◆ 3



◆ 4

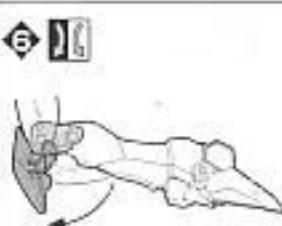


◆ 4

◆ 5



◆ 6



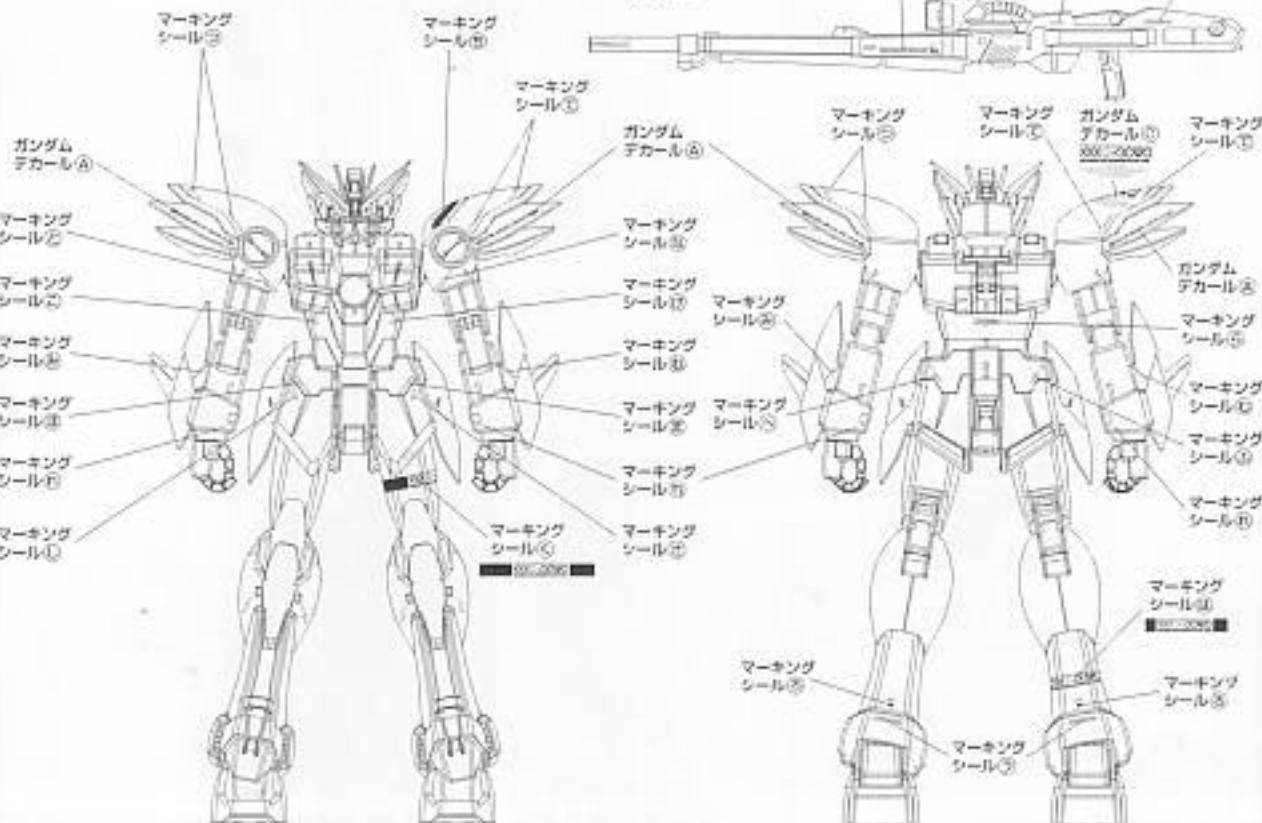
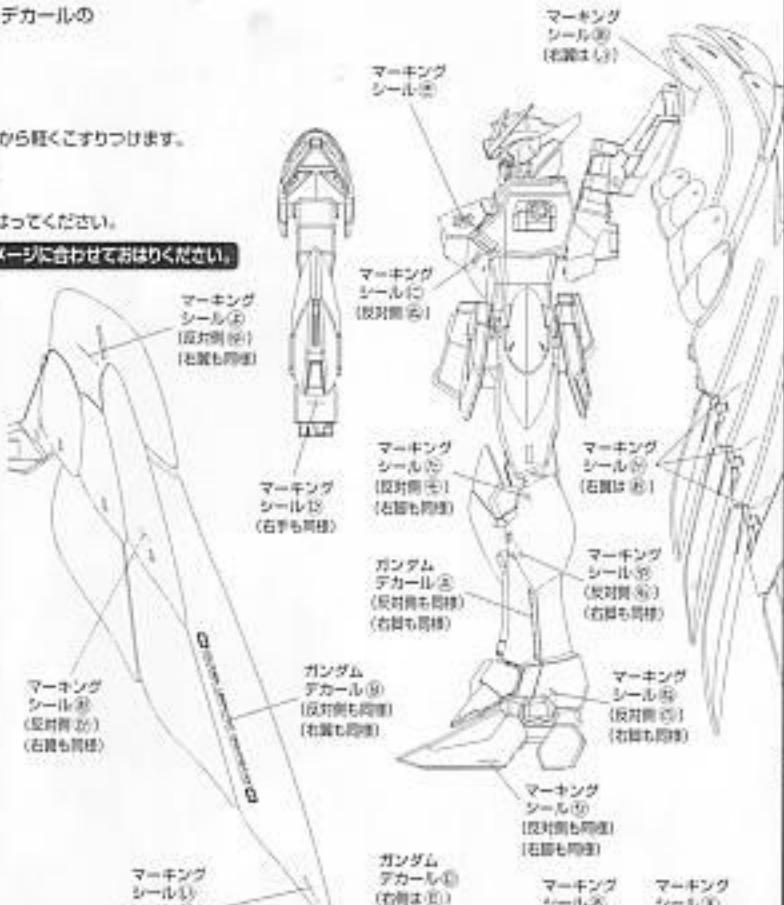
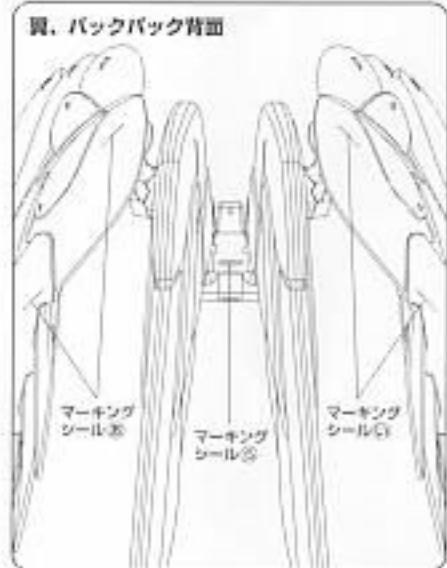
## Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールのはり位置を確認してください。

ガンダムデカールのはりかた。

- 転写するマークを大きめに切ります。
- 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
- シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写しない部分をこすります。
- 余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。

このマーキングシール及びガンダムデカール表示は一例です。イメージに合わせておはりください。





XXXG-00W0  
「ウイングガンダム ゼロ  
(エンドレスワルツ版)」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

**WING GUNDAM ZERO**  
**MOBILE SUIT XXXG-00W0**

Scanned by Dalong.net